

2022-2023
No.1681
2022.9.22

会長：植村 仁 幹事：津久井茂
会員数：45 会場出席：24 欠席：21
出席率：53.3%
点鐘：植村 仁 会長 司会：武井順一 副SAA
ロータリーソング：奉仕の理想（ソングリーダー：北野浩司郎）
例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～



みんなのロータリー、
みんなでロータリー、
さあ！奉仕に出かけよう

会長の時間

植村 仁 会長



9月8日の中野ガバナー公式訪問例会では、メンバーの皆様にご協力頂きまして、ありがとうございました。また高橋佳代さんには、例会の二日前にお願いしたリクエスト曲を完璧に練習してガバナーに披露して頂きました。ありがとうございました。

話は変わりますが、9月3日(土)沼田高校同窓会総会が行われました。昨年12月に、2025年の沼高・沼女の統合が決まった後の初めての総会でした。同校OBで5月に就任した星野稔市長も来賓祝辞で出席されていました。

今回の統合は、両校を廃校にして新校を設立することになっており、今後の両校の同窓会のあり方、位置づけを決める段階にもなっております。統合の背景にあるのがまずは地域の人口減少です。利根沼田地域の人口は、1995年の10万937人から2045年には4万9941人となる見通しです。中学卒業生も2009年の913人から2036年には317人になるとみられています。そしてもう一つの要因が、地域外の高校へ進学する傾向が続いていることで、昨年春は179人が地域外の高校へ転出しています。

現在、県内の公立高校64校のうち、男子高・女子高なのは、前橋・高崎・太田・館林・渋川・沼田の12校。公立の男子高・女子高は全国的には少数派で、全国の公立校3434校のうち、男子高は13校、女子高は31校で計1.3%。地域的には、群馬・埼玉・栃木に多く存在しています。

新設校の基本方針としては、①高いレベルの進学を目指す男女共学校 ②地域の未来を担う高い志を持った次世代リーダーを育成 ③地域と連携し、群馬ならではの新しい学びを推進 ④両校の伝統と優れた取り組みを継承、発展の4項目となっています。

今後の予定としては、2022年度に設置場所や定員、定

時制の概要、2023年度に教育課程などの基本構想、2024年度に学校名などを定める方針となっています。来年4月に両校へ入学する生徒が、新設校を巣立つ最初の卒業生となります。

地域に根ざすロータリー活動として育英奨学金制度を設けている当クラブとしても、利根沼田の未来を担う新たな共学校の発展を、見守って行きたいと思っております。

幹事報告

津久井茂 幹事



- ①10月23日の地区大会の懇親会は中止になりました。本会議は行います。
- ②地区大会記念ゴルフ大会に参加された方、雨の中ありがとうございました。
- ③来週9月29日は休会です。
- ④10月6日の例会後、理事会があります。
- ⑤青森県大雨災害支援金の募金箱を回しますので、宜しくお願いします。

ソングリーダー

北野浩司郎 会員





植村 仁・津久井 茂

- ①9月8日の中野ガバナー公式訪問では、例会からクラブ協議会まで会員の皆さんにお世話になりました。ありがとうございました。
- ②本日の例会は、公共イメージ委員会原澤ふじ子会員によるロータリーの友の解説です。宜しくお願い致します。

小林 照夫

コロナ感染症とロシアのウクライナ侵攻は先が見えない。人間の心と科学もこの難局を超える能力を持っている。早期の世界の平和を願ってBox inです。

石田 宇平

沼田ユネスコ協会50周年記念が10月15日行われます。小林照夫氏より沼田ユネスコ少年少女合唱団に運営資金100万円の寄付を頂きました。大金をありがとうございました。

本山 佳宏

妻にステキなお花をありがとうございました。

小澤 博之・金井 康二・須田 恭弘・田村 総一郎

田村さんが久しぶりに来て嬉しかった。涙が出ました。嬉しー！

ニコニコが少ないのでBox inしました。



『ロータリーの友』創刊70周年特別企画として、過去の誌面を紹介しています。友ウェブ（電子版サイト）でもバックナンバーがご覧になれます。

またもう一つの特別企画として、ロータリーをテーマにした俳句コンテストが開催されます。選者は夏井いつき先生です。

9月は、基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間です。

RI会長メッセージでは、今年4月に中央アメリカのグアテマラを訪れた際の報告と感想が述べられていました。グアテマラでは1997年以来、ロータリーの識字率向上プログラムを通して、教科書の提供、教員の研修、奨学金の給付などを行い、農村部の教育を改善してきました。

またロータリー財団管理委員長のメッセージにも、「読むことも書くこともできない成人は世界で推定7億7300万人に上り、そのほとんどが女性です。こういった人々は明らかに人生で不利な立場にあり、働く機会は限られています。」「大きな志を持ってリテラシー向上と教育に取り組み、世界を変えようではありませんか。」とありました。



令和5年10月1日からの適格請求書等保存方式（インボイス制度）について、国税庁の資料を用意して説明して頂きました。